

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

トリクロサンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

第 0 8 0 1 2 号

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：トリクロサン
- 2) 曝露方法：止水式
- 3) 供試生物：オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 試験水温： $20 \pm 1^{\circ}\text{C}$
- 5) 曝露期間：48時間
- 6) 試験水量：100ml
- 7) 連 数：1濃度区 4連
- 8) 生 物 数：20頭/1濃度区 (1連 5頭, 1濃度区 20頭)
- 9) 照 明：室内光, 16時間明/8時間暗
- 10) 試験濃度：対照区, 助剤対照区, 0.032, 0.056, 0.10, 0.18, 0.32, 0.56及び
1.0mg/L
- 11) 試験水中の被験物質の分析：高速液体クロマトグラフ法 (曝露開始時, 終了時)

結 果

- 1) 24時間曝露後の半数遊泳阻害濃度
 $\text{EiC}_{50} (24\text{hr}) = 0.39\text{mg/L}$ (95%信頼限界：0.33~0.47mg/L)
- 2) 48時間曝露後の半数遊泳阻害濃度
 $\text{EiC}_{50} (48\text{hr}) = 0.27\text{mg/L}$ (95%信頼限界：0.22~0.34mg/L)
- 3) 最大無作用濃度 (NOECi) = 0.10mg/L
- 4) 100%阻害最低濃度 = 0.56mg/L
(上記濃度は、全て設定濃度に基づく値)